

事業名 転作確認ソリューション

事業者名 株式会社ネスティ

1. ソリューションの開発・実証内容

【目的】 転作確認業務に於ける衛星データを用いた業務効率化・省力化
【目標】 自己保全管理・休耕圃場に対し衛星データを活用することにより
現地確認作業を半分に削減する

- 【開発内容】
- ① 「細目書」と圃場区画のマッチングツール
 - ② 衛星データの取得と補正処理
 - ③ 衛星データの解析アルゴリズムの開発
 - ④ 現地調査を支援する為の簡易なタブレットツール

【実証内容】

実証ユーザから提供頂いたR5年度の現地確認結果を元に自己保全管理・休耕圃場の解析を実施し、判定精度及び現地確認作業の低減を確認・評価
 ⇒ 既存自己保全管理・休耕圃場に対して61.62%の再現率、25.76%の適合率となり精度向上が課題
 ⇒ 衛星データによる現地確認作業低減のボリュームは全体の約26%（2040筆）で目標値の半分程度

開発したタブレットツールの画面



2. 事業化に向けての想定スケジュール

今年度得られた技術や知見を元に、福井で地固めをしつつビジネス拡大を実施
 福井県内自治体への横展開を進め
 気候や風土が似ている
 石川県や富山県、滋賀県などの福井県近隣の自治体を対象にビジネスを拡大

直近3年間の事業計画（案）

	実施事項
R6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実証ユーザにて費用対効果の測定と検証、サービスの拡張 ・ 福井県内での横展開（トライアル、利用評価） ・ 新たなテーマの選定と深堀り、実証
R7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県内自治体での有償利用 ・ 新たなテーマでの有償実証（費用対効果の測定と検証） ・ 福井県外での横展開（トライアル、利用評価）
R8年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福井県内自治体での有償利用（サービスの拡張） ・ 福井県外自治体での有償利用

分野（あてはまるものに○）

農業、漁業、林業、資源探査、環境管理、
 インフラ管理、違法事業管理、測量・地図、建設・都市計画、災害対応、保険、スポーツ、その他（ ）

3. 利用した衛星データ

[衛星データの種類]

No	衛星データ名	観測モード
1	Sentinel-1	IW (L1 GRD HR)
2	Sentinel-2	- (L2A)
3	GRUS	- (L1C)

4. 課題（技術および事業化について）

【技術的課題】

麦の判定精度向上の研究

（自己保全管理・休耕圃場判定の精度向上のため）
 ⇒ 麦のフェノロジーを検証
 出穂期前後のVV偏波の後方散乱値の変化に着目しアルゴリズムの研究とチューニングを実施

【事業化の課題】

交付金交付の為の現地確認や遊休農地パトロールなどの農業行政業務へ事業ターゲットをフォーカス
 ⇒ 自治体で広く実施される業務へ
 今回開発した技術やアプリを拡張
 eMAAFとの連携
 ⇒ 農水省が整備を進めるeMAFF地図、eMAFF現地確認との連携を強く希望